

ニュース

【氣和会主催「遠藤征四郎先生」講習会への参加】

3月5日、6日の両日、長与町武道場にて標記の講習会が開催されました。当道場からは5日に浜田館長、村里副館長の2名が参加しました。※村里副館長の感想を【会員投稿】欄に掲載しています。

会員投稿 投稿者：村里さん（北星館会員の皆さんへのメッセージです）

【遠藤先生の稽古に参加して】

3月5日（土）15時から2時間、氣和会主催の遠藤征四郎先生の講習会に参加してきました。遠藤先生については、合気道をされている方は先刻ご存じだと思いますが、知らない方のために少し説明しますと合気会本部の師範で8段です。植芝盛平翁の最後の内弟子と言われており、最初は力の合気道でしたが、肩を脱臼されてから「体の力を抜き相手の動きに柔らかく合わせる技」を研究されており、日本国内にとどまらず海外にもたくさんのお弟子さんを持つすごい先生です。

長崎での氣和会主催の講習会は今年で4回目で、私は2回目の参加でした。

普及連盟の長崎道場からも4名ほど、諫早道場からも3名ほど参加されていました。北星館からは浜田館長と私の2名参加しました。

最初は両手取りの後ろ技から指導が始まりました。後ろから相手に両手を取らせ、それを崩していく技ですが、先生の手を実際にとったところ、確かに柔らかい。少しでも力を入れていたらそこでギュッとこちらにも力を入れられるのですが、実体がないところを握ってる感じで、柔らかく崩されます。

なるほど、これがぶつからない合気道かと納得しました。

次は相手の右の握った拳を右の掌で押さえ相手の気持ちを考えてながら誘導するという稽古です。先生がされると面白いようにお弟子さんたちが誘導されていきます。

また体捌き、足捌きも大事だけど、膝を柔らかく使いなさいということでした。これも参考になりました。しかし、しかしです。

北星館得意のゴリゴリ合気道をしている我々には遠藤先生の技は少しじっくりこない部分がありました。がっしりとすると「相手と合わせることを学びなさい。」柔らかくにとって先生の動きに合わせてこちらも動く、「腰が弱いからそうなるんです。」

良く見たら先生が技を見せる時に、相手がすべて先生のお弟子さんたちなんですね。ということはお弟子さんたちは先生のやり方や癖等すべて分かっているからああいう受け身ができるわけであって全く違う流派の道場の方ががっしり持ってそういう動きができるのか微妙な感じでした。

今回の稽古で思ったのは、合気道はいろいろな流派があり、いろいろなやり方があるので、遠藤先生のぶつからない合気道も素晴らしいですが、北星館のバリバリぶつかる合気道もまた素晴らしいということでした。

お互いがっしり持った所から、相手を崩していく、これは動きながら、相手に合わせながら相手を崩していくことに比べてすごいことだと思います。

今回の稽古では、砂泊大先生の技がいかに素晴らしかったを改めて感じました。

我々は浜田館長の技を真摯に習っていけば大丈夫です。

最後に、この文章は北星館の会員向けに書いた文章です。決して遠藤先生の合気道に対して疑義を言うるわけではありませぬのでご注意ください。

編集後記

やっと春らしくなったかと思うと昼間は汗ばむぐらいの陽気です。

岩屋中学校の武道場の工事の終了に伴い、4月2日(土)から稽古を再開します。また水曜日の稽古も4月6日(水)から再開します。岩屋中学校は天井や壁が大きく変わっていました。床面積は変わっていないのですが、前より広くなった印象をうけます。

岩屋中学での稽古再開で「古巣に帰ってきたというか感じがする」といった会員の方も多かったようです。また、長与での稽古に参加しにくかった人たちも参加しやすそうです。